

# Aomori Cherry Extract

## 青森(弘前産)のオオヤマザクラエキス

- オオヤマザクラはバラ科サクラ属の植物で、北海道、北陸、中部地方以北、山陰、四国、などに自生している桜です。ヤマザクラに比べ花や葉が大きいことからオオヤマザクラと名付けられました。
- 弘前市岩木山の「世界一の桜並木」にあるオオヤマザクラの果実を手作業で収穫しています。

### 1. 表示名称

| 製品名                   | 主な成分表示名称     | INCI名                          |
|-----------------------|--------------|--------------------------------|
| Aomori Cherry Extract | オオヤマザクラ果実エキス | Prunus Sargentii Fruit Extract |

### 2. 期待される効果効能

- 肌の抗酸化力の改善
- 抗炎症(IL-1 $\alpha$ , PGE2産生抑制)
- 紫外線を受けた肌へのケア



六花酒造



青森県産業  
技術センター



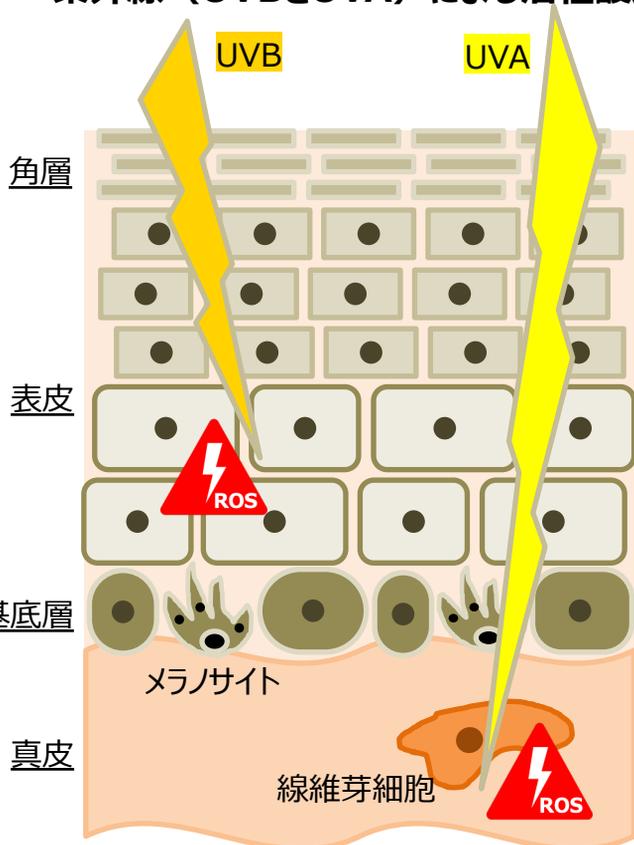
東亜化成株式会社  
TOA KASEI CO.,LTD.  
Since 1913

素材提供及び技術連携  
(特許 第6497690号)

エキス開発

### 3. 製品の機能性

#### ■ 紫外線 (UVBとUVA) による活性酸素(ROS)の発生



紫外線 (UV) にはUVBとUVAの波長があり、UVBは表皮細胞に影響を与え、UVAは真皮まで届くため、線維芽細胞に影響を与えます。

各細胞はUV照射によって、細胞内活性酸素 (ROS) が発生し、細胞内で影響を受けます。肌の日焼けや光老化 (シミやシワの要因) は、UV照射による生体反応によって、引き起こされると言われています。

オオヤマザクラエキスは、UV照射による細胞内活性酸素の発生を抑える効果があります。

#### ■ 活性酸素量の抑制

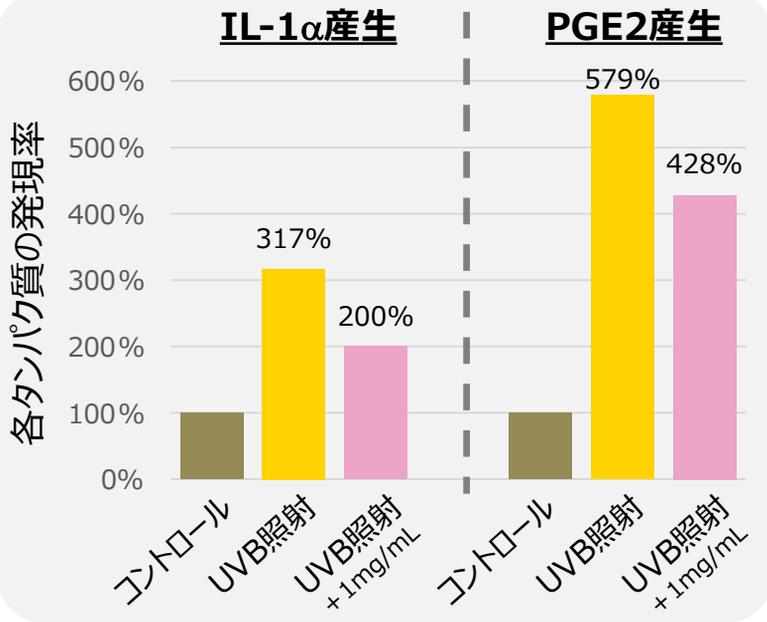
| UV照射の種類  | コントロール | エキス<br>1mg/mL |
|--|--------|---------------|
| <b>UVB</b><br>(30 mJ/cm <sup>2</sup> )<br>表皮細胞使用 | 126.1  | 101.8         |
| <b>UVA</b><br>(2 J/cm <sup>2</sup> )<br>線維芽細胞使用  | 151.2  | 45.7          |

(単位は%、UV照射していない細胞のROS量と比較)

# Aomori Cherry Extract

## 3. 製品の機能性

### ■ UVBによるIL-1 $\alpha$ , PGE2産生

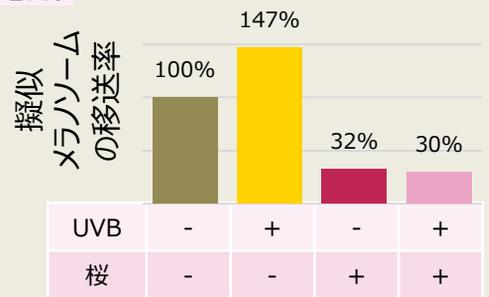


UVB照射によって炎症の因子であるIL-1 $\alpha$ 及びPGE2が多く産生する。(■ UVB照射時)

オオヤマザクラエキスは、UV照射によって発現が促進された炎症因子の産生を抑制する。(■ UVB照射 + 1mg/mL エキス添加)

### ■ メラノソームの移送抑制

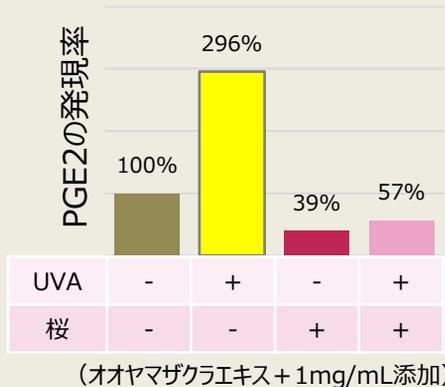
炎症因子であるIL-1 $\alpha$ が産生されると、メラノソームの移送が増える。オオヤマザクラエキスはこの移送を抑えることができた。



### ■ UVAによるPGE2産生

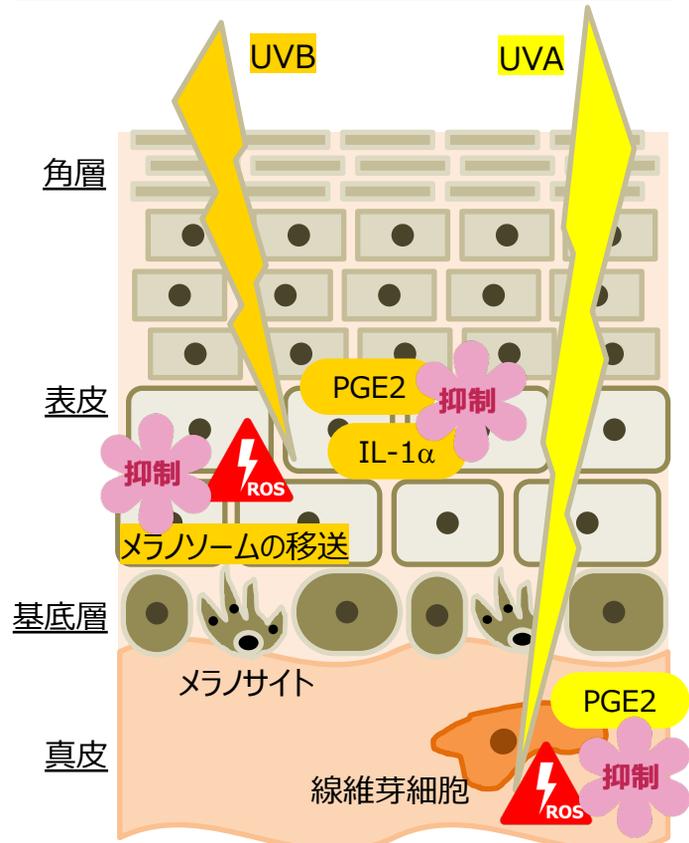
UVA照射によっても炎症の因子PGE2が多く産生する。(■ UVA照射時)

オオヤマザクラエキスは、UVA照射時の炎症因子PGE2の産生を抑制する。(■ UVA照射 + 1mg/mL エキス添加)



## 4. 期待するメカニズム

紫外線照射による炎症を緩和することが期待される。



本研究は、2020年開催国際学会 IFSCC横浜にてポスター発表した内容になります。カタログ上には記載していませんが、表皮細胞、線維芽細胞及び、それを取り巻く因子との相互作用についても研究を行なっております。詳しくは弊社営業までお問い合わせください。

お問い合わせ先：  
 東亜化成株式会社 [toa@toakasei.com](mailto:toa@toakasei.com)  
 (本社) 大阪府中央区高麗橋3-4-10 TEL:06-6201-5131  
 (東京) 東京都中央区日本橋2-16-11 TEL:03-3243-0771